

災害を知ろう

ため池の決壊

ため池は、大雨や地震により決壊する恐れがあります。万が一決壊すると、下流の家屋や公共施設等に被害を及ぼす恐れのあるため池を「特定ため池」として指定しています。自宅付近の特定ため池の場所を把握しておきましょう。



◀兵庫県CGハザードマップ

万一決壊した時の浸水想定範囲を確認しておこう！



▶特定ため池マップ▶



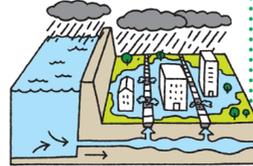
日頃から、不用意にため池には近づかないようにしましょう！

内水はん濫

大雨が降った時に、海や川に雨水を排水することができず、道路側溝やマンホールから雨水が噴き出して、浸水することです。浸水しているところには、近づかないようにしましょう。



◀浸水から街を守る



高潮による浸水

台風など、発達した低気圧が近づくと海面水位が異常に高くなる場合があります。沿岸部の状況は、神戸港防災ポータルサイトで確認できます。



◀神戸港防災ポータルサイト

沿岸の現況映像や防潮鉄扉の開閉状況をリアルタイムで配信。



過去最大級の台風による高潮への対策は完了しています。

台風の時は、海岸付近には近づかないようにしましょう。

地震・津波

明日かもしれない、南海トラフ巨大地震

今後30年以内にマグニチュード8以上の地震が発生する確率は80%程度とされています。神戸市では「1000年に1度」の確率で発生する津波への対策は完了しています。

予想される神戸市内の震度

最大震度 **6強**

全域の震度 **5強以上**

巨大地震直後は、津波の情報も確認

大津波・津波警報が発表されたら、津波を想定した避難行動を！

高さ1m以上の津波到達までの時間は最速で約**80分**と予想されています。

津波が発生するかどうかで避難行動が変わります！

正確な最新の情報を確認しよう！



KOBE

大切な人を 守るためにも 準備しよう



北区② 八多周辺 大沢長尾・保存版 2025年度



土砂災害・水害ハザードマップ付

広報紙KOBEから抜き出してお読みください

ハザードマップを正しく チェック!するための3STEP

①

自宅周辺の危険なエリアをチェックしよう

色がついている場合は
凡例で中身を確認しよう！

②

避難所を探そう

・複数の避難所を検討しよう！
どこの避難所でも大丈夫
・安全ルートを確認しよう！

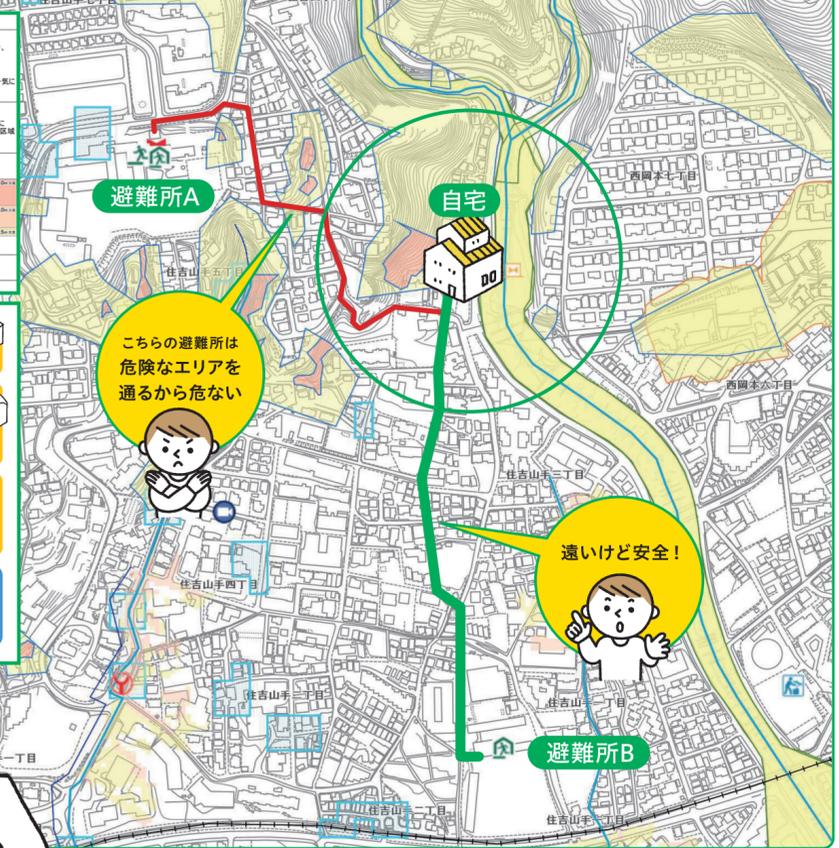
③

実際に避難所まで歩いてみよう

避難ルートの近くに
川、水路、がけ地などがいないか、確認しよう！



土砂災害・水害に関する区域	
急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)	がけ崩れ、土石流、地すべりが発生した場合、被害が及ぶ恐れのある区域
土砂災害警戒区域	土石流危険渓流、土石流が一気に流れ出す恐れのある区域
地すべり	
急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)	がけ崩れ、土石流が発生した場合、避難に困難が生じ、命の被害が生じる恐れのある区域
土砂災害特別警戒区域	土石流
5.0m以上	100年に1回程度の確率で発生する大規模な地震に、二級河川から浸水する恐れがある区域
3.0m以上	100年に1回程度の確率で発生する大規模な地震に、河川から浸水する恐れがある区域
1.0m以上	100年に1回程度の確率で発生する大規模な地震に、河川から浸水する恐れがある区域
0.5m以上	100年に1回程度の確率で発生する大規模な地震に、河川から浸水する恐れがある区域
0.5m未満	100年に1回程度の確率で発生する大規模な地震に、河川から浸水する恐れがある区域
内水はん濫による浸水想定区域	100年に1回程度の確率で発生する大規模な地震に、雨水管からあふれた水により、20cm以上浸水する恐れがある区域



がけ崩れ
斜面が急に崩れ落ちる現象

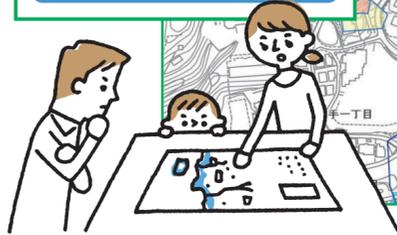
土石流
山や谷の土砂が水と混じり一気に流れ出す現象

地すべり
緩い斜面が広い範囲でゆっくりすべり落ちる現象

洪水
河川の水があふれたり、堤防が決壊することにより、はん濫が発生する災害です。

こちらの避難所は危険なエリアを通るから危ない

遠いけど安全！



問い合わせ先
0570-083-330 FAX 078-333-3314
神戸市お問い合わせセンター (年中無休8:00~21:00)
※災害テレホンセンター 0570-078-500は、0570-083-330に統合しました



メールフォームはこちら



よくある質問はこちら